

今日の説教のポイント<使徒言行録 23 章 12~35 節

①ここまでしてパウロを殺そうとするか?! 宗教は怖い?

パウロがイエス様の救いを宣べ伝えることに我慢ならず、「彼を殺すまでは飲み食いたくない」(12)と誓いを立てたユダヤ人が 40 人以上もいたとあります! 二千年経った今も、宗教の違いから来る戦争が世界中のあちこちで起こっています。「宗教は怖い。信仰を持たない方がましだ」、そう思う人がいるかもしれません。しかしそれは違います。その理由の第一は、彼らのしていることは神様が望んでおられることではないからです。間違った信仰理解をする人はいます。しかし、それは信仰そのものが間違っている理由にはなりません。第二に、命を狙われたパウロがそれで信仰を捨てることはなかったことにこそ注目です! なぜか? その理由を考えることが大事なのです。

②なぜパウロがこんなに苦しまなければならないの?

それにしても、神様はなぜ、誰よりも熱心に福音を宣べ伝えるパウロをこんな目に遭わされるのでしょうか? 「神様は本当にいるの」、そう思う人もいるでしょう。しかし、神様はパウロを召されたときにはっきりと、「私の名のためにどんなに苦しまなければならないかを、私は彼に示そう」(9:16)とされています。どういうことでしょうか? 間違っただけではありません、神様が彼を苦しめたものではありません、他の人間がパウロを苦しめたのです。「神様はなぜ」と問う前に、人間の罪をもっと考えなければならないのです。大事なことは、パウロはどんな目に遭っても、自分の罪を赦して下さる恵みに満ちた神様を伝え続けたということです。

③今与えられている恵みに目を向け、感謝の祈りを捧げることから!

パウロ自身はこの時も神様に感謝の祈りを捧げたことでしょう、彼を救うために力を注いでくれる千人隊長が与えられたことを、パウロを殺そうとする話を甥が耳にしてパウロに伝えてくれたことを。以上で説教題「パウロの試練とその対処」の全てをお話ししました。どんな試練も恐れるに足りず、なぜなら神様が必ず道を開いて下さって対処することができるから! 私たちも覚えておきたいことです!